

いのちのつどい

この3月11日で、東日本大震災の発生から4年が経ちます。

立命館大学でこれまで開催してきた「3.11追悼企画 いのちのつどい」は、2014年度、

朱雀キャンパス を会場に様々な取り組みを展開します。

今年は、いまあらためて、震災と原発事故からの復興に想いを馳せる場として

学内・学外の皆さまと「私たちにできること」について考える機会としたいと考えています。

3/8

[5階・ホール]

シンポジウム ドキュメント上映会

ドキュメント 10:00～
シンポジウム 12:00～

基調講演に堀潤さんを迎え、福島大学うつくしまふくしま未来支援センター京都シンポジウム「ほんとの空が戻る日まで—東日本大震災及び原発事故からの福島の闘い—」を開催。

参加費無料・事前申込み制
(インターネットでの申し込みを受け付け中です)

3/9

[1階・エントランスホール]

追悼展示企画

[月～水] (9日のみティーチ・イン)

3/9(月)9:00～3/11(水)17:00まで
ティーチ・イン 3/9(月)12:00～ 語り手 サトウタツヤ文学部教授

東日本大震災をテーマとしたパネル展示を通じ、4年前のあの日を思い起こし、わたしたちにできることを考える機会とします。入退場自由。無料。

【出展内容】立命館大学文学部サトウタツヤ有志「ふくしま食文化探検隊」、NPO法人ナルク作成「福島県の被災地域の写真・パネル展示」、学生団体「そよ風届け隊」福島県での支援の取り組み、立命館宇治中学・高等学校生徒による支援の取り組み、福島大学うつくしまふくしま未来支援センター取り組み紹介、東日本大震災からの教育復興プロジェクトOECD東北スクール(福島の高校生)の取り組み、立命館の災害復興支援の取り組み

3/10

[1階・多目的室]

3.11交流企画 ＜東北を語りあかす会＞

18:30～20:30 (終了予定)

地震が発生した前日の夜に思いを馳せ、東日本大震災について語り合う交流の場を設けます。それぞれに東北を語る上で馴染みのものをお持ちください。

要事前申込み・会費制
【詳細は立命館災害復興支援室facebookページにて】
<https://www.facebook.com/fukkoR>

3/11

[1階・生協ラウンジ]

いのちのつどい

[水]
14:00～16:00 (事前申込み不要、参加自由)

例年どおり、地震発生時刻の14:46に黙祷。「あの日」と「今」に、静かに祈りを共に捧げます。

立命館では東日本大震災発生後、被災地域の大学からの支援要請など、緊急的・総合的に判断・対応が必要なものや、学生のボランティア活動、支援に関わる教員の教育・研究活動へのサポートなど、学内外の情報を整理し具体化していく必要性があると判断し、2011年4月21日に設置しました。「いのちのつどい」は毎年3月11日に、距離が離れても現地への思いは遠ざげることなく考えていこうと、例年12月に開催されている「不戦のつどい」にならない、開かれた場づくりを通じて、共に感じ、語り、考える機会としています。